

令和七年 荒井神社 夏祭

# 輪ぬけ祭 六月二十八日

(予備日) 二十九日

雨天などで、行事の内容が変更になる場合は、最新情報を荒井神社ホームページにてお知らせいたします。

## 大祓式・湯立て神事

○小雨の場合は決行し、荒天の場合は二十九日に延期いたします。

○本年より「**大祓式**」を**午後7時**より斎行いたします。ご参拝の皆様をお祓いた後、宮司を先頭に皆様と共に茅の輪をくぐります。たくさんのご参列をお願いいたします。

○「**湯立て神事**」は、**午後8時**から斎行いたします。

○「奉納あんどん」は、午前9時から午後9時まで参道に掲げます。雨天の場合もカバーをかけて展示いたします。

○キッチンカーが、午後4時ごろから午後9時ごろまで境内に出店いたします。

○「茅の輪」は、六月二十八日から七月一日ごろまで拝殿前に設置しております。この期間は雨天の場合でも、いつでもくぐることができます。

○「雛形（人形）」は、六月十五日から七月一日まで、神社にて無償で授与いたします。

○当日はお車でのご参拝はお控え下さい。なお、自転車は道路にとめないで下さい。



## 【輪 ぬ け 祭】

輪ぬけ祭は、六月の大祓<sup>ミナツキ オオハラエ ナゴシ</sup>、夏越の大祓と言って、人が知らず知らずおかした罪（ツミ）や身についた穢れ（ケガレ）をお祓いする、古くから我が国で行われている神事です。  
雛形（人形）<sup>ヒナガタ ヒトガタ</sup>にツミ・ケガレを託し、真菰<sup>マコモ</sup>で作った茅の輪<sup>チ</sup>を左右左と三回通りぬけて、夏の悪病退散をご祈願下さい。

## 【湯 立 て 神 事】

湯立て神事は、熱湯に笹<sup>ユタ</sup>をひたし、湯のしずくを全身にあびて心身を祓い清める神事です。  
江戸時代の地誌『播磨鑑』<sup>ハリマカガミ</sup>に当社の湯立て神事が記載されており、古くより盛んに行われておりました。

また、湯立てに神事に用いた小笹は、夏の間、家の玄関先や門口につるしておけば疫病・魔よけとなりますので、ご希望の方には神事後に授与いたします。



☆キッチンカーが出店します☆

【時間】 午後4時～午後9時

【内容】 未定 ※ホームページでお知らせします

荒井神社公式 HP  
最新情報はコチラ



## 【奉納あんどん】

著名人や地元有志による「奉納あんどん」が参道に飾られます。  
雨天時でもカバーをかけて展示いたします。



## 【雛形について】

雛形（人形）<sup>ヒナガタ ヒトガタ</sup>は、形代<sup>カタシロ</sup>ともよばれ、私たちの身代わりとなるお祓いの神具です。以下の手順にて、ツミ・ケガレを雛形に託し、お祓いをお受け下さい。

雛形はお一人一枚を、6月15日～7月1日の期間中、神社にて無料で授与いたします。

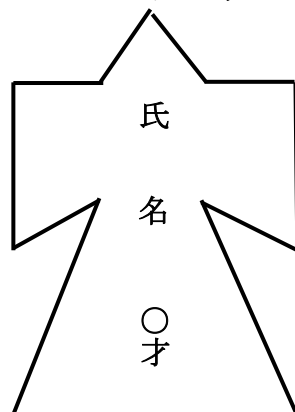
※授与時間は通常午前9時から午後5時の間になりますが、28日に限り（ただし28日が荒天の場合は29日）午後9時までの授与といたします。

※ご家族やご親族の分も授与しますので枚数をお伝え下さい。

### お 祓 い の 作 法

- ① 雛形に氏名・年齢を書く。
- ② 雛形で自分の身体を静かになでる。
- ③ 雛形にツミ・ケガレを遷<sup>うつ</sup>すように念じながら3回息を吹きかける。
- ④ 輪をくぐり、拝殿正面の筒の中に納めた後、神前に参拝する。

雛形（人形）



【問合せ先】 荒井神社 社務所 高砂市荒井町千鳥2丁目23-12

TEL 079-442-0658